

サンレディー大田「ふれあいホール」の災害備蓄倉庫案について

20220102 劇研「空」洲浜

サンレディー大田は1992年（平成4）に開館。今年で30年経過。ふれあいホールも併設され、設備が整い客席が格納できる多目的ホールなので、展示、集会、研修、軽運動、部活動、舞台発表、各種イベントなど多様な利用が可能な大変便利のいい中規模のホール。

客席の定員は約546人（前席77×2、後席336、補助席28、立見席28）。県内には珍しい移動観覧席。全席格納できるので、広い平土間になり、いろいろなイベントに使える。

舞台は、緞帳はないが、間口10,5m、奥行き6,7m、花道、第4バトンまであり、照明設備、照明器具、音響映像設備、平台24、箱足70、ピアノ、展示パネル70枚等々、必要なものはほとんど揃っている。

その上に、音響、照明のベテラン職員が二人いるのは大ホール並で、大変恵まれている。山陰地方でも最近新築された中ホールは電動式客席移動形式が多い。多くの市民に多種多様な使い方をしてもらいたいからだ。30年前に大田市で、このホールができたとは先見の明があったといえる。当時の文化協会会長、勝部義夫さんはプロの演劇、映画人だったが、「何度も要求したが緞帳だけは作ってもらえなかった」と言われたのを覚えている。

しかし大田市の公共施設見直しが進み、このホールについては次のような計画が実施に移されつつある。

大田市の検討結果：「ホールは、音響や空調が耐用年数を過ぎ、災害用備蓄倉庫として使う。ホアイエや舞台部分には市役所分庁舎のうち情報企画課を移転する。2026年度利用開始を見込んでいる」（新聞や市の資料より）

高校演劇や劇研「空」等が「ふれあいホールを」使用した例

- 1993（平成5）9/24, 25
高文連演劇部門石東地区大会（担当・大田高、洲浜昌三）
講師・野崎宏明、大島宏美、石東石西合同6校参加
- 1995（平成7）10/21, 22
高文連演劇部門夏期講習（担当・大田高、洲浜昌三）
講師・西沢由朗、福原美佳（大田高卒）90名参加
- 1997（平成9）8/3, 4
高文連演劇部門夏期講習（担当・松江工業、河田健二）
講師・島田静仁（青年劇場）160名参加
- 1998（平成10）7/31, 8/1
高文連演劇部門夏期講習（担当・浜田高、伊藤靖之）
講師・上田忠好 参加者75名
- 1999（平成11）8/5, 6
高文連演劇部門夏期講習（担当・大社高・小村正昭）
講師・広戸 聡、崎山直子 参加者150名
- 2002（平成14）3/9
劇研「空」第3回演劇公演「父の宝物」（作演出・洲浜昌三）
（脚本は文化庁主催舞台芸術奨励賞13候補に入る） 観客約280名
- 2004（平成16）3/28
劇研「空」第5回演劇公演「サクラさんのふるさと」（ " ）

大田高演劇部員他の客演あり。観客約28人

- 2007（平成19）8/13
石見銀山天領太鼓20周年記念「日韓伝統芸能祭」公演
「龍が導きし輝く歴史」（朗読文、語り・洲浜昌三）約400名
- 2008（平成20）2/1
大田市なかよし学級学習発表会で石見銀山の劇上演
脚本を依頼されて（洲浜）提供。いろいろな発表あり約300。
- 2008（平成20）8/14
天領太鼓と劇研「空」コラボ「石見銀山歴史ものがたり」
大田高卒業生会瓶陵会総会 約250人
- 2015（平成27）
第11回劇研「空」演劇公演「石見銀山」歴史ものがたり」
瓶陵会総会。卒業生、福原美香、大畑夫妻、和樹氏も出演。
- 2018（平成30）6/23
大田文化プロネット主催公演「一日限りの相生座」
劇研「空」制作協力、出演。 約500人
- 2021（令和3）12
「大田とびっきり寄席」「空」のメンバー出演、大森小学児童も
- 2022（令和4）12/11
「大田とびっきり寄席」「空」のメンバー出演、大森小学児童も